

10042 自然環境論 I b Introduction to Natural Environment I		1 年次～ 前期 2 単位	
担当者	飯田 利明	履修可能学科	E Pe Pc C W F N
		関連資格	
サブタイトル	生き物たち、特に動物の行動から自然を探る		
授業内容 ・ ねらい	<p>わたしたち人類はこの地球の生命の一員であり、多くの生き物たちと共存して生きていくより他に未来はない。</p> <p>わたしたちの生活を続けていくためには、自然環境の中で生活を営むこの仲間の生き物たちを知ることと合わせて、生物学的な自然観を理解することは、ますます重要になっている。しかし最近、生態学などの自然環境の中での生き物の生活を研究する分野の発展は著しく、あまりにも見渡すべき範囲が広く、戸惑うことが多いのも現実だ。</p> <p>この授業では、主に動物の行動などを題材として、基礎的な考え方を事例に基づいてわかりやすく解説し、わたしたちヒトという生き物の行動を理解し、環境や生き物と今の生活との関係を見直す一助としたい。</p> <p>後期の自然環境論II bとは、基本と発展という形で、内容的には連続しているものと考えてほしい。</p>		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. はじめに 2. 生き物はどこにすんでいるのか 3. 太陽と水の星 4. 二つの性が存在する意味＝繁殖行動 5. 動物の行動の基本は 6. 行動を組み立てる 7. 家族生活＝親と子の関係 8. 子の世話の多様性は 9. 群れと社会生活 	<ol style="list-style-type: none"> 10. 「出費と利益」の考え方 11. 社会の大きさを決める要因は 他に、現在進行中の自然環境と生き物の問題について、できるだけ多くの話をしたい。 12. 生物多様性の意味と大量絶滅の進行 13. 環境ホルモンなどの化学物質汚染 14. 熱帯多雨林の開発とその現状 15. 身近な植物であるタンポポの生態を通じて都市化の問題を考える 	
教科書 参考書	授業内容が広く、これ一冊という教科書はないが、授業内容を深めるために、必要な参考書、ホームページ等を紹介したい。		
評価方法	期末のレポートによる。		
事前準備学習 履修条件等	特に無し		